

構想日本は2014年4月に
組織変更（一般社団法人化）をしました



加藤 秀樹 Hideki Kato

発行：一般社団法人構想日本

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-9-2

エスパリエ平河町3F

電話：03-5275-5607

FAX：03-5275-5617



構想日本 総括ディレクター
伊藤 伸 Shin Ito

加藤・伊藤が語る 構想日本が目指すもの

Q.1 今の政治について どう思いますか？

政権が長続きするのは良いことです。しかし国民の個々の政策に対する関心や投票率の低さ、理念も一貫性も統率力もない野党の状況を見ると、今の日本社会の政治基盤はとても不安定だと思います。その原因は、つきつめると国民が社会全体のことや政治を「他人事」と考えているところにあります。

Q.2 どうすれば良いでしょうか？

迂遠なようですが、国民が社会の事を「自分事」と考えることが健全な政治のスタートです。自分事にするうえで、構想日本が行ってきた「市民判定人による事業仕分け」や「住民協議会」が有効であることは、多くの自治体で実証済みです。市民判定人として一度参加すると、政治・行政に対する関心や、投票に行くという人が格段に増えます。選挙制度や広報も大事ですが、日常の行政に住民がもっと関わることが、政治のレベルアップにとってより本質なんだと思います。

Q.1 地方創生が話題ですが、 構想日本ができることは？

キーワードは「現場力」。現場の潜在能力が生かされていないのは、制度やルールが現場の実情からずれ、しかも画一化しているからです。そこで大事になってくるのが「一般的の民意」の引き出し方。事業仕分けの住民判定人や住民協議会委員を見ると、一度町のことを自分事として考えると、興味も面白さも知恵もどんどん出るようになります。この「現場力」を引き出すことこそ、構想日本が最も得意とする活動です。

Q.2 今後の抱負を教えて下さい。

私自身が30代ということもあります、この先長く世の中の一員として関わる若い世代が、もっと政治や行政に「自分事」として参加できる機会を増やしていきたいです。ネットを使って若い世代の意見を集めることの仕組みを作る、グッと年齢を下げて中高生と地域の課題を議論するなど、やりたいことのアイデアは尽きませんね（笑）

加藤・伊藤が伺います

霞ヶ関、永田町の動き
や政治について基本的な
ことを知りたい…

…など、10人程度集まれば、

政策について
熱く議論したい…

事業仕分けやその手法
の活用について詳しく
相談したい…

これまで北は北海道、南
は九州まで、多くの方々に
お声掛けいただきました。

全国どこへでも加藤・伊藤が伺います。

詳しい相談は、担当：田中まで！

加藤秀樹の首尾貫徹

フランスの連続テロ事件の追悼・抗議大行進の参加者がフランス全土で370万人に達したと報道された。ヨーロッパなどの首脳の行進にはそれぞれ思惑あるだろうが、やはり彼らの政治を感じさせる。しかし、数百万人によるデモは、それにもまして民衆の政治意識力を見た気がする。



代表 加藤秀樹

フランス人はとても自己中心的な人たちだ。自分の生活、今年のバカスを何よりも大事にする。同時に彼らは、政治や社会の事にも関心が強い。街頭インタビューなどを見ると、残念ながら日本人よりはるかに骨のあることを喋っている。

それは、自分の生活と社会全体のことや、政治が表裏一体だと知っているからだ。今年のバカスを楽しく過ごすには雇用が守られ、自由が守られ、平和が守られないといけない。だから自分が損しないように政治に対して目を光らす。

政治や社会への「自分事」度の高さが、国民の6%ものデモ参加にあらわれていると思う。

日本にもこれがほしい。

最近のリフォーラムのご報告

第206回

11月20日（水）

2020年以降のオリンピック 「妄想委員会」

ゲスト 猪子 寿之（チームラボ代表）
乙武 洋匡（作家、東京都教育委員会委員）
コーディネーター 加藤 秀樹（構想日本 代表）



第207回

12月24日（水）

人口減少 一本当の問題は何かー

ゲスト 鬼頭 宏（上智大学教授）
福嶋 浩彦（元消費者庁長官・中央学院大学教授）
コーディネーター 加藤 秀樹（構想日本 代表）

構想日本の動き 2014.10～2014.12

主なもの	新聞・テレビ等メディア掲載： 大学・学生向け活動：	47件	自治体（職員、議員）向け活動： 7件	36件
				3件

<新聞・テレビ等メディア掲載>

- 朝日新聞 自治の力 行政に住民の声どう届ける
- 東京／中日新聞 考える広場 地方議員に喝！選んだ責任大きい
(代表 加藤秀樹)
- 産経新聞 衆院選2014 選択への視点④
財政再建への道筋示せ (代表 加藤秀樹)

<自治体との動き>

- 三重県松阪市 「市営住宅のあり方市民討議会」
(代表 加藤秀樹、政策アナリスト 川嶋幸夫)
- 鳥取県北栄町 職員研修 (総括ディレクター 伊藤伸)
- 兵庫県加古川市 事業仕分け (総括ディレクター 伊藤伸)

<その他>

- NPO/NGO政策提言向上セミナー
～選挙じゃない政治への関わり方～ (総括ディレクター 伊藤伸)

<大学・学生向け活動>

- 京都大学 「公共経営論」講義 / 経営協議会委員
(代表 加藤秀樹)
- 法政大学 「NPO論」講義
(総括ディレクター 伊藤伸)
- 国際公共経済学会 パネルディスカッション
(代表 加藤秀樹、総括ディレクター 伊藤伸)

会員募集

構想日本は会員からの会費だけで運営しています。日本をもっと素敵な国にしたいと思っている貴方、是非会員になって構想日本の活動を支えてください。詳しくは…

TEL 03-5275-5607
www.kosonippon.org/info

及び同封の葉書、振込用紙をご覧ください。